

三者連絡会(教授職員会、琉大労組、琉病労組)

ニュース 第60号

2012年12月18日

事務局・琉球大学教授職員会(内線 2023)

E-mail kyoshoku@eve.u-ryukyu.ac.jp

<http://www.cc.u-ryukyu.ac.jp/~kyoshoku/>

琉大労組(内線 2024) 琉病労(内線 7-2099)

法令遵守を強く求める!

12月13日(木)、岩政学長は「国家公務員の退職給付の給付水準の見直し等のための国家公務員退職手当法等の一部を改正する法律」の対応について、Web 上に「お知らせ」を公開しました。団体交渉に一度も姿を見せないまま、「組合交渉を計4回にわたり重ねて参りましたが、12月12日の組合交渉において、労使双方の主張の結果、議論は平行線となり、交渉は決裂しました」と宣言しました。7月の給与削減と同様に、過半数代表選挙を行わず「全教職員からの意見聴取を実施」をしても、過半数の意見の聴取になっていないことは誰の目にも明らかです。何より団体交渉中の教職員への意見聴取は、不当労働行為になることをここに強く申し上げておきます。

誠実なる交渉の再開を!!

国立大学法人となって9年。この間学長・理事としての大学の運営を担ってきた岩政学長は、学長権限を有するという理事に団体交渉を任せただけです。しかし、その理事が法令を守れない今、問われているのは学長の指名責任です。国立大学法人は労働基準法、労働安全衛生法等に基づいて、自主的に就業規則を定めており、その法令遵守が何より重要であることがなぜ理解されないのでしょうか。不利益変更を一方向的に宣言し、教職員の理解が得られぬまま運営される大学ほど不幸なものはありません。通則法63条や文科省や大臣等からの「要請」は、法的に受け入れられないと断ることができるものです。岩政学長の責務とは、今すぐ誠実なる交渉を再開し、真に自律した琉球大学にすることです。

重要 組合員の皆さんへ

当局による組合員への意見聴取は、労働組合法上の不当労働行為に当たりますので、意見聴取には応じないでください。今後は、個別に同意を求められることが予想されますが、不合理な就業規則への同意に応じる必要はありません。

三者連絡会は、法令遵守を求めて労働委員会へ斡旋を申請しております。基本的な法も理解できておらず、労働者の権利を平気で侵害する行為を繰り返す当局に屈することなく、どこまでも粘り強く交渉して参ります。この重大な局面を乗り越えるため、より多くの皆さんに組合へ加入していただき、ご支援くださいますようお願い致します。

琉球大学 三者連絡会 共催

NO OSPREY! 講演会

2012年12月21日(金) 18:00

琉球大学理系複合棟 102 教室にて

講師： 渡嘉敷 健 さん

(琉球大学工学部 准教授・環境工学)



■MV22 オスプレイが沖縄に強行配備されて
いらい、各地で低空飛行による騒音、危険な低
空飛行への抗議の声が上がっています。普天間
飛行場から中城湾のポイントへ抜ける飛行経
路の真下にある琉大キャンパスでも、上空を低
い高度で飛び交う機体がたびたび目撃されて
います。

■私たち琉球大学の三者連絡会は、この米軍機
の「うるさい(>_<)」の専門家、渡嘉敷健さん
の講演会を開催いたします。県内の学校、教室
で騒音の測定を行い、結果を積み上げ、騒音、
低周波の問題を具体的なかたちで訴えてきた
専門家です。

■教職員、学生の皆さん、関心を持つ全ての皆
さんのご来場をお待ちしております。どうぞ、
お誘い併せてご参加下さい。

■三者連絡会とは、琉球大学に雇用される職員
の三つの労働組合、「沖縄国家公務員労働組合
琉大労組」「琉大病院労働組合」「教授職員会」
でつくる連絡協議会です。

■お問い合わせは教授職員会まで。
kyoshoku@eve.u-ryukyu.ac.jp

◆琉球大学教授職員会は、琉大上空の軍用機飛行に抗議し、近接する米海兵隊普
天間基地の閉鎖を求めます。V22 オスプレイの沖縄配備と運用に強く反対し、
関連する施設・機能強化、特に名護市辺野古新基地建設、東村高江周辺の着陸帯
建設に反対します(2012年度総会決議より)。

